

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-167252(P2010-167252A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2009-112665(P2009-112665)

【国際特許分類】

A 6 1 H 33/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 33/06 G

A 6 1 H 33/06 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月16日(2012.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気密可能な気密部と、

この気密部の排気口に連通して気密部内の気圧を減圧する減圧ポンプと、

前記気密部の気圧が予め定められた閾値気圧を下回る過減圧となることを防止する過減圧防止装置と、

外気を気密部内の気圧に応じて連続的に自然吸入する給気管とを備えた調圧装置であつて、

前記気密部が、矩形状のパネルを組み合わせて互いの接合部分の気密性を確保した6面体状の筐体に構成されており、

前記減圧ポンプを制御する減圧制御手段を更に備え、

前記減圧制御手段が、1～60分間で気密部内の気圧を前記閾値気圧以上の減圧状態へ変化させる減圧工程と、1～60分間でこの減圧状態から常圧又は前記減圧状態よりも高く常圧よりも低い広範常圧状態へ変化させる与圧工程とを、連続的に繰り返し制御するものであることを特徴とする調圧装置。

【請求項2】

気密可能な気密部と、

この気密部の排気口に連通して気密部内の気圧を減圧する減圧ポンプと、

前記気密部の気圧が予め定められた閾値気圧を下回る過減圧となることを防止する過減圧防止装置と、

外気を気密部内の気圧に応じて連続的に自然吸入する給気管とを備えた調圧装置の調圧法であつて、

前記気密部内の気圧を1～60分間で前記閾値気圧以上の減圧状態に減圧する減圧工程と、1～60分間でこの減圧状態から常圧又は前記減圧状態よりも高く常圧よりも低い広範常圧状態に与圧する与圧工程とを、連続的に繰り返すことを特徴とする調圧法。